

第3-②回 榿原市一般廃棄物処理施設長期包括運営委託事業者選定委員会
議事要旨

1. 日時 平成25年11月6日(水) 9:55~12:50
2. 場所 クリーンセンターかしはら 3F 研修室
3. 出席委員
荒井 喜久雄 公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
市川 陽一 龍谷大学 理工学部環境ソリューション工学科 教授
北浦 一郎 弁護士法人 トラスト&サービス 弁護士
寺嶋 均 一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 会長
岡崎 益光 榿原市 副市長
森田 泰造 榿原市 生活環境部長

4. 次第

- 1) 開会
- 2) 会長挨拶
- 3) 報告事項
(1) これまでの経緯(入札公告から対話まで)について
- 4) 議題
(1) 採点用評価シートについて
(2) 提案書の内容確認について
(3) 非価格要素審査時におけるプレゼンテーションの実施について
- 5) 確認事項
第4回事業者選定委員会について
- 6) 閉会

配布資料

- 【資料5】リサイクル館かしはら長期包括運営委託事業 これまでの経過について
- 【資料6】評価シート(リサイクル館かしはら)
- 【資料7】リサイクル館かしはら長期包括運営委託事業 提案書 比較表
- 【資料8】プレゼンテーション対応(タイムスケジュール・リサイクル館)について

5. 議事

- 1) 開会
- 2) 会長挨拶
- 3) 報告事項
(1) これまでの経緯(入札公告から対話まで)について
資料5により、これまでの経緯(入札公告から対話まで)、今後の進め方について事務局から説明があった。

4) 議題

事務局より、落札者決定における採点方法について、再確認を行った。(昨日欠席された市川委員への対応)

(1) 採点用評価シート(クリーンセンターかしはら)について

事務局から、資料6により、採点用評価シート(リサイクル館かしはら)の内容等について説明を行った。

(2) 提案書の内容確認について

事務局より、資7「リサイクル館かしはら長期包括運営委託事業 提案書 比較表」の内容(構成等)について説明を行った後、委員より以下のとおり意見があった。

委員：代表企業の基本方針の内容については質疑応答により確認する必要がある。

委員：所長の役割について、10年間の運営委託期間を見据えた所長の配置(年齢)の考え方を確認する必要がある。

委員：特に事業立ち上げ当初の運営人員体制の構築が重要である。

委員：所長の役割(SPC、代表企業との関係)が、不明瞭である。

委員：法定有資格者の配置計画(現状と比較)について確認する必要がある。

委員：今後の資格取得(教育)の考え方についても確認する必要がある。

委員：運営人員体制について、予備人員の考え方、休暇対応の仕方についてプレゼン質疑応答により確認する必要がある。

委員：現状の運営人員と本事業の業務範囲を考慮して評価する必要がある。

委員：提案による運営人員の考え方について確認する必要がある。

委員：従業者教育について、代表企業による協力企業への教育訓練の実施方法について質疑応答により詳しく確認する必要がある。

委員：運転計画における配慮について、B社は記載内容が一般的である。

委員：搬入ごみの全量展開検査の実施について確認する必要がある。

委員：セルフモニタリングについて、第三者による実施について確認する必要がある。

委員：用役使用量について、現状よりも水、電気、薬剤等の使用量を削減できるのかどうか確認する必要がある。

委員：維持管理の考え方について、A社の計画は解説的な内容で記載されており、具体的でない。

委員：施設の安全対策について、トラブル発生後の対応(安全対策)が重要である。

委員：リスクアセスメントについて、解説的な記載になっている提案が見受けられる。

B社のリスクイベントツリーでは、多くのリスク項目が記載されている。

委員：現在の運転事業者以外が受託した場合の引き継ぎについて、十分に検討しておく必要がある。

委員：見学者の安全確保について、C社の提案は具体性に欠ける。

- 委員：労働安全衛生の考え方については、各社共に一定の対応が網羅されている。
- 委員：SPC に対してのサポート体制について、親会社による保証が明確でないという意味がない。
- 委員：人件費の考え方について、各社ばらつきがある。特に手選別の要員については、大きな差がある。雇用形態を質疑応答により確認する必要がある。
- 委員：法定点検費について、検査手数料と検査に伴う清掃・整備等を含むものであるのかどうか確認する必要がある。
- 委員：補修費について、A 社は安い、用役費は A 社が高くなっている。
- 委員：付保する保険について、各社それぞれ特徴的（保険額が様々）である。
- 委員：C 社は実績に基づくリスクヘッジを考慮した保険対応のようである。
- 委員：用役使用量について、C 社のユーティリティ削減計画の実行可能性について疑問が残る。質疑応答で確認する必要がある。
- 委員：低炭素社会への方策について、A 社は一般的な内容の記載となっている。
- 委員：地元対策について、各社共に市内雇用の将来計画、市内発注の予定額等が記載されている。
- 委員：市民への対応について、C 社はホームページを活用し、今後の PR について記載されている。

(3) 非価格要素審査時におけるプレゼンテーションの実施について

事務局から資料 8 により、プレゼンテーションの実施要領について説明を行った。

5) 確認事項

第 4 回事業者選定委員会の 1 日目は平成 25 年 11 月 11 日（月）10 時 10 分から開催する旨が確認された。

6) 閉会

以上